

コンピュータ演習 第5回

今回のテーマは「ウェブの最新事情、情報モラル」です。

- インターネットは良い面として、ウェブの最新状況を説明します。
- インターネット上でのトラブルを避けるための、マナーやルールについて説明します。

連絡事項

授業では、eラーニングのシステムを利用します。出席の確認や、課題の提出などに利用します。

- アドレス: <http://elearn.humans.hyogo-dai.ac.jp/moodle/>
- 自宅からでもアクセス可能です

今回の内容

1. [ウェブの最新事情](#)
 - ウェブ上のコミュニケーション
 - ウェブ上での新しいサービス
2. [情報モラル](#)
 - 情報モラルの説明
 - ビデオの視聴と小テスト

今回の課題

- 課題: [ビデオの感想文](#)

ウェブの最新事情

コミュニケーションの手段としての「ウェブ」

近年、ウェブを利用した、さまざまな情報発信が盛んに行われています。ウェブでの情報発信をとおして、情報が共有され、実社会に影響を及ぼすこともあります。

- 掲示板 (BBS)
 - 2ちゃんねる (<http://www.2ch.net/>)、Yahoo!掲示板 (<http://messages.yahoo.co.jp/>) 等
- ブログ (Blog)
 - アメーバブログ (<http://ameblo.jp/>)、ココログ (<http://www.cocolog-nifty.com/>)、livedoor Blog (<http://blog.livedoor.com/>)、はてなダイアリー (<http://d.hatena.ne.jp/>) 等
- SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス)
 - mixi (<http://mixi.jp/>)、GREE (<http://gree.jp/>)、ひよこむ (<http://hyocom.jp/>)、Facebook (<http://www.facebook.com/>)
- 個人の「つぶやき」による「ゆるい」コミュニケーション
 - Twitter (<http://twitter.com/>)

みんなの意見／口コミが新しい情報に

ネット上にある大勢の情報が結びつき、流行や最新情報を把握することもできます。

- ソーシャルサービス
 - はてなブックマーク (<http://b.hatena.ne.jp/>)、Delicious (<http://delicious.com/>)、digg (<http://digg.com/>)
- 人力検索 (Q&Aコミュニティサイト)
 - OKWave (<http://okwave.jp/>)、人力検索はてな (<http://q.hatena.ne.jp/>)、発言小町 (<http://komachi.yomiuri.co.jp/>) 等

サービス+サービス=新しいサービス

検索を中心に複数のサービスを組み合わせた、新しいサービスが数多く生まれています。

- ポータルサイト (検索を中心に多様なサービスを提供するインターネットの入り口となるWebサイト)
 - Yahoo! JAPAN (<http://www.yahoo.co.jp/>)、百度 (Baidu) (<http://www.baidu.jp/>)
 - So-net (<http://www.so-net.ne.jp/>)、@nifty (<http://www.nifty.com/>)、BIGLOBE (<http://www.biglobe.ne.jp/>)、NTT ぷらら (<http://www.plala.or.jp/>)、eo (<http://eonet.jp/>)
- 地図+α (ルート検索、写真、地形、グルメなどの情報の付加)
 - Googleマップ (<http://maps.google.co.jp/>)、Yahoo!地図 (<http://map.yahoo.co.jp/>)
 - ALPSLAB (<http://www.alpslab.jp/>)、Map Fan Web (<http://www.mapfan.com/>)

個人のデータをみんなで共有

個人が所有している、写真や動画を、手軽に共有する手段が登場しています。

- 写真アルバム／共有
 - Flickr (<http://www.flickr.com/>)
 - Picasaウェブアルバム (<http://picasaweb.google.co.jp/>)
 - フォト蔵 (<http://photozou.jp/>)

- 動画共有

- YouTube (<http://www.youtube.com/>)
- ニコニコ動画 (<http://www.nicovideo.jp/>)
- Ustream (<http://www.ustream.tv/>)

情報モラル

インターネットの「光と影」

パソコンやインターネットが普及したおかげで、多くの人とメールのやり取りができたり、世界中の商品を簡単に購入できたり、Webを使ってコミュニケーションができたり、私たちの生活は豊かになりました。

その反面、**ささいな書き込みがトラブルに発展したり、メールを使ってお金を騙しとる詐欺**など、インターネットの世界はトラブルや危険と隣り合わせでもあります。

自動車社会で法律や交通ルール・マナーが必要のように、情報化社会でも、パソコンやインターネットを安全に利用するために、**利便性と危険性**、そして**ルールやマナー**を理解する必要があります。このような考え方を「**情報倫理**」といいます。ネットワークを利用する人たちがお互いに快適に利用するために、守ってほしい考えです。

情報モラルのビデオの視聴

「情報倫理デジタルビデオ小品集3」というビデオを見て、インターネットの安全性やマナー・モラルについて学習します。

- 制作・著作権：独立法人メディア教育開発センター

ビデオの内容

ビデオは、8つのパートで構成されており、全部で30のテーマに分かれています。大学生の日常生活や学生生活に関連するテーマを中心に、ドラマによる事例と対策を紹介しています。

今回は、その中から、次の内容に絞って視聴します。（時間の都合により、すべて視聴しない可能性があります）

- ネット上でのコミュニケーション
 - 15. SNSについた謎のコメント
 - 17. 匿名掲示板の荒らしはスルー
 - 21. 巧妙になったワンクリック詐欺
- ネットを活用した学習
 - 26. 喧嘩にならないオンライン議論
 - 27. Web貼りつけのレポートはNG
 - 28. レポートのズルはデンジャラス

ビデオに関する小テスト

ビデオの内容を確認するために、ビデオに関する、簡単な小テストを行います。3択問題で、全部で12問あります。

第5回の課題

ビデオの感想

課題の内容

今回の授業で見た、ビデオの感想を書いてください。

感想文は、次の3つの構成で書いてください。（文字数は全体で400文字以上）

- 興味を持ったテーマを「1つ」あげて、その理由を書く
- 興味の持てなかったテーマを「1つ」あげて、その理由を書く
- 全体についての感想を書く
 - ビデオの内容について、共感したり自分の意見があれば書く
 - 自分でも何か体験していれば、それについても書く

課題の提出

小テストのプリントの裏側に、手書きで書いてください。読みやすいように、**きれいな字でなくても良いので、丁寧に書くこと**。

提出期限

- 今回の授業終了までに、教員またはSAに提出すること